

オシャレも人生も「自分で選ぶ」

# CLASSY.

Beauty

日常を取り戻しつつある今、  
私たちに本当に必要なものって？

発表! ウェルビー女子的  
コスメ大賞2021

好きなこと、大事にしていること、迷うこと…  
もしかしたらみんなと同じかも

新カバーモデル・松島花に  
100問100答

January 2022 1  
クラッシー

<https://classy-online.jp/>

2021年11月27日発行・発売  
(毎月1回28日発行・発売) 第39巻第1号  
昭和59年8月2日第三種郵便物承認

できることから、すこしずつ  
川口春奈の  
ウェルビーイングな  
ファッション論

INTERVIEW

Snow Man 阿部亮平  
HiHi Jets 作間龍斗

プチプラも! 名品も!  
今何を買うべきかが分かる

2022年  
オシャレの適正価格を  
見直そう!

別れる確率が一番高いのは30代前半!?

# “離婚”の現実、知っていますか?

離婚する人がもっとも多いのは30代前半のCLASSY.世代なのを知っていましたか? それくらい「離婚」は誰にでも起こりうる人生の選択肢の一つです。同世代の離婚の体験談や法律やお金の話、最新の離婚事情やパートナーシップの変化まで、離婚のリアルをお届けします。

イラスト/二階堂ちはる デザイン/副島かおる  
取材/加藤みれい 編集/中畑有理

## 30代離婚の理由を聞いてみました

離婚の理由は?…/  
妻側からのエピソード



(33歳 Tさん)

Wife side 03

### 夫と姑がベッタリ…同居に耐えられなくなり自分が家を出ることに

結婚前から姑と同居。なんと挙式前日のホテル泊も3人で泊まりました! 10年以上続く3人暮らしに限界を感じ、元夫に相談すると、姑には収入がないからと言われ、仕事があり家賃も払える私が家を出て別居することに…。さらに子どもがほしいと話す元夫は姑を養っていることもあり、子どもはほしくないと言われ離婚。再婚し今は妊活中です。



(Hさん 37歳)

Wife side 02

### 夫の仕事が续かず家計も不安定に産後も飲み歩き続けさらに浮気も

恋愛中はノリがよく楽しい彼氏だった元夫。転職を繰り返すなど不安定な部分になりつつも、変わってくれればいいと思い結婚。子どもが生まれてからは育児から逃げるように飲みに出かけ、遅くまで帰ってこないうえに浮気も発覚…。家にお金を入れないのに外では気前よくおごっていることもわかり、離婚を決意しました。



(Kさん 35歳)

Wife side 01

### 結婚前からずっと浮気していた夫授かり婚で自分だけ知らされず…

ハイスペックなエリート会社員だった元夫と授かり婚。結婚した直後から私のSNSに身に覚えのない誹謗中傷メッセージが届くようになり、こっそり夫の携帯を見てみると複数の女性との親密なやりとりを発見…。周りに相談すると、実は私の家族も夫の浮気を知っていたけれど、妊娠中だった私を気遣って内緒にしていたと言われました…!



### ③ 結婚していた時の名字を離婚後も使用可能 子どもがいる場合は自然です

96%の女性が結婚で姓を変えています。離婚後に旧姓に戻す人は実家の戸籍に戻るか、新たに自分の戸籍を作ります。子どもがいる学校などで姓が変わるのを避けたい人は役所で結婚時の姓を継続する婚氏統稱の手続きをするか、戸籍上は子どもも旧姓に変更し、卒業するまでは学校で通称として結婚時の名前を使うという選択も。

### ② 離婚全体の約85%を占める協議離婚 公正証書が必要

協議離婚とは、双方が離婚に合意して当事者間で財産分与や子どもの親権などを決められる場合の離婚のこと。協議書は法的に強力な公正証書として作成すると安心感があります。双方の合意がとれない場合は家庭裁判所での調停となり、それでも合意できなければ裁判に。離婚全体の約85%は協議離婚、残りの約15%が調停・裁判での離婚です。

### ① お互いが離婚に同意しているなら離婚届を出して完了

双方が離婚に合意していれば離婚届を役所に提出するだけで手続きは完了。離婚届にはお互いの署名と押印、証人2名の署名と押印が必要で、証人は友達など誰でも大丈夫。大半は女性が入籍し名字を変えるので、女性が戸籍から抜けるのが通常です。提出窓口が本籍地でない時は戸籍謄本が必要。子どもがいる人は養育費、面会交流についても記入します。



広瀬めぐみさん  
弁護士

東京家庭裁判所の非常勤裁判官、家事調停委員として、数多くの離婚を取り扱ってきた。現在も法律事務所にて離婚協議、調停、訴訟、国際離婚などを中心に担当している。

離婚することになったら…  
法律とお金について  
知っておこう

実は / **一番離婚の数が多いのがアラサー＝CLASSY.世代!**

**女性から離婚した場合の離婚理由上位8位とは?**

裁判所の統計によると、離婚調停をした女性の離婚理由の1位は「性格が合わない」2位は「生活費を渡さない」3位は「精神的に虐待する」4位は「暴力を振るう」5位は「異性関係」となっています。以降は6位「浪費する」7位「家庭を捨てて省みない」8位「性的不調和」と続きます。  
※平成29年度司法統計 婚姻関係事件数一申立ての動機別申立人別一全家庭裁判所より

**CLASSY.世代に離婚が多いのは夫婦の危機が多い年代だから**

恋愛と結婚のギャップで「こんなはずじゃなかった」となりやすい結婚初期、さらに「産後クライシス」とも言われる子どもが生まれたばかりの時期など、夫婦の危機が多いからこそ離婚の件数も増えるという結果に。子どもがいなかったり、まだ小さい時期なら離婚しやすいとも言えます。

**アラサー&同居年数5年以内が一番離婚が多いゾーン**

データによると、実は最も離婚が多いのがCLASSY.世代。女性の年齢別の離婚件数と離婚率は30～34歳が1位(※1)。また同居期間別の離婚件数も「5年未満」が1位(※2)で、女性の結婚平均年齢が29歳ということを考えると、アラサー世代の離婚件数が最も多いことがわかります。  
※注1 平成29年人口動態調査より  
 ※注2 令和元年人口動態統計月報年計より

離婚の理由は? / **夫側からのエピソード**

**浮気、金銭問題、すれ違い...**



(Yさん 38歳) Husband side 03

**収入以上の生活費を妻から要求され金銭的にも精神的にも限界に…!**

インセンティブ制の給与体系で収入に波があるなか、子どものお稽古や受験など生活費の要求が増えていき、それでもなんとか希望の金額を渡そうと借金まですること…。そのうち不眠になってしまい、仕事にも影響が出るように。また、元妻は義父に絶大な信頼を寄せていて自分は頼りにされず、相談ごと全部義父に。肩身が狭かったです。



(Aさん 36歳) Husband side 02

**妻実家の家業を継ぐことになり跡継ぎ→不妊治療のプレッシャーが**

元妻の実家は会社を営んでいて僕も家業を手伝うことになり、24時間一緒にいるように。家でも仕事の話ばかりの生活は心が休まらず疲弊。さらに会社の跡継ぎをと不妊治療が始まり、プレッシャーを感じながらの治療は辛かったです。無事に子どもはできましたが、精神的に疲れ切ってしまう、家業からも離れることに。最終的に、元妻とは別れました。



(Fさん 34歳) Husband side 01

**結婚後に妻が留学、さらに年の半分は海外でほぼすれ違いの生活に**

元妻は海外出張が多く一年の半分くらいしか一緒にいられない、すれ違いの生活。仕事優先で僕の実家の法事にも参加しないし、子どももほしくないから夜の生活もなく、夫婦として成り立っていない状態でした。さらに元妻が海外留学することに。何度か留学先に会いに行くなかで、ある時、結婚している意味がわからなくなり離婚しました。



**7 慰謝料と養育費について**

不貞や暴力など違法な行為があった場合は慰謝料を請求できます。相場は不貞の場合300万円、暴力の場合200万円程度。最近の離婚理由に多いモラハラは慰謝料の認定が難しいのが現実です。養育費は裁判所が定めた算定表があり、お互いの収入に合わせて決定。相手を支払わない場合、調停書や公正証書があれば給料を差し押さえるなど強制執行ができますが、相手の行方がわからなくなると受け取れません。一括で受け取るのは難しい場合がほとんどです。

**6 財産分与は夫婦が同居後に築いた資産を2等分が原則**

双方が納得していれば財産分与は任意となり、「早く離婚したいから財産はいらない」「財産を多く分けて離婚に合意してもらおう」という人も。通常の財産分与をする場合は、裁判所に別居1年前からの口座明細を提出するほか、家など2人で形成した財産があれば双方に半分ずつの権利があります。結婚前から持っている財産は財産分与の対象外。また、国際結婚の人は結婚前にプリナップという財産分与の契約書を作っていることも。

**5 気になる弁護士費用は財産分与や養育費の金額によっても変動**

広瀬先生の場合は法律相談が1時間¥11,000～、協議離婚は着手金22万円+終了22万円、調停の場合は着手金33万円+終了33万円、訴訟の場合は着手金44万円+終了44万円が目安。簡単に手続きが済めばもっと少ない場合もありますが、財産分与など経済的利益が発生する場合は日本弁護士連合会の基準により300万円までは16%、300万円超～3000万円は10%+18万円、養育費の2年分の15%などの報酬がプラスで発生します。

**4 調停・裁判になると半年～長くて5年 弁護士の依頼も検討を**

双方の意見を調整する調停は家庭裁判所で月に1回程度行われます。調停は夫婦が1人ずつ調停員と話を形式で、相手と面会することはありません。期間は半年～1年。結論が出ない裁判(訴訟)に。裁判の期間は平均1～2年で、開催は月に1回程度。高裁、最高裁と進めば長くて5年かかる人も。最終的には裁判官の判断で親権や財産分与などが決定されますが、一度決まってしまうと変更できず、特に親権などは相手との知識量の違いで納得のいかない結果となるケースもあるので、弁護士を依頼したり、その都度、法律相談に行くのがお勧めです。

# 離婚するまで、そして独身に戻ってから… みんなどうだった？ 座談会

実際に離婚となると何が大変？ 離婚した後はどんな生活が待っている？  
離婚を経験した30代女性3人に離婚「するまで」「してから」の体験談を語っていただきました！

「離婚」の現実を  
語ります！

30歳で結婚して1年半で離婚。バラの花束をサラリと贈るような元夫と大恋愛の末結婚するが、相手の深夜帰宅やモラハラ的行動にも耐えられず離婚。37歳で再婚。



Aさん 39歳・再婚

25歳で結婚、30歳で離婚。子ども1人。高スペックな元夫に惹かれ結婚したがケンカが絶えず、自分が働いていることに対して元夫の理解を得られなかった。35歳で再婚。



Kさん 36歳・再婚

26歳で結婚、29歳で離婚。仕事が忙しくて生活がすれ違いがちに。結婚当初はお互い子どもを持つつもりがなかったが、自分だけ子どもがほしくなったことも離婚の原因に。



Mさん 32歳・独身

世間体を気にする必要はないけれど  
離婚しなくてもいい道も探ってみてほしい

**K** 今思うと最初の結婚は無意識に年収や家柄とか、ルックスとかスペックで相手を選んでいったと思う。自分に本当に必要なものが自分自身でわかっていたのかもしれない。

**A** わかる！ 私もエネルギー的に深夜までバリバリ働く人がカッコよく見えていた時期があった。元夫も恋愛中は刺激的で楽しい関係だったけど、結婚になるとしんどい相手だった。こんな思いをしてまで、収入が高い人と一緒に暮らすことが幸せにはつながらない！ と思っちゃった。

**M** 私はもはや結婚はムリ！ っていう感じで…。一人暮らしが快適すぎて、二度と誰ともリズムを合わせることができない気がしています。

**N** 夜中に1人で自分の好きなDVDを爆音で見られる環境が楽しくてしょうがなかったな。いつ寝てもいいし、いつ起きてもいいし、いつでもいいし、いつでもいいし！

**A** あとは離婚直後はお誘いが増えてモテている感覚を味わった。飲み歩いて第二の青春を謳歌して、めちゃくちゃ楽しかった！

**K** 私もあるところ、一人旅できて、自由で解放感があった感じがたけど、一生続けたいとは思わなかったかな。

**A** 私も一年くらいで寂しくなってきたな。家に帰っても暗いし、家賃も全部自分で払わなきゃだし、日常の小さいなことを話せる相手もない。  
**M** 最近「一生一人なの？」という

気持ちがある。今の私には子どものいない男女が一緒に住むメリットがわからないから、もし再婚するモチベーションになるなら子どもかな。

**K** 確かに私も再婚したのは、子どもがほしかったからもある。日本で子どもを育てるなら、事実婚だとどちらの姓にするのかとか、いろいろな問題が出てくるし。

**A** 私も40歳までに子どもがほしいと思ってるから、子どもは大きいよね。

**K** 今は幸せだけれど、私の離婚は子どももいたし簡単じゃなかったから、離婚を考えている人には、まずは離婚せずにいられる道も探ってみてほしいと思う。

**M** 私の場合、本人どうしは彼氏と彼女が別れるくらいの簡単さで離婚したけど、親が寝込みそうになるほどショックを受けていたので、離婚は親を悲しませるといってはありますよね。あとは、彼のお母さんがすごくいい人だったので、もう会えないのは大きな心残り。  
**A** 私は離婚してよかったし、もし世間体を気にして離婚を迷っているなら、離婚して後ろ指をさされる時代でもないよと言いたい。周りでも彼と何年も同棲していても籍を入れていない事実婚状態の人もいたり多様化しているし、子どもがいないなら、一緒にいて自分の気持ち下がるとか、マイナスのほうが多いなら、離れたほうがいいにだっていい人生になると思う。ただし、女性に経済力があることは前提で！

## 離婚の最新事情について専門カウンセラーが教えます！

離婚だけが答えじゃない！  
「愛情」と「損得」を軸に  
慎重に検討しよう

相談者さんには離婚の判断軸は「愛情」と「損得」と伝えています。生活費を入れない夫でも妻が稼いでいて「愛情」があれば妻が養っていいですね。また「愛情」が冷めると家事や親孝行をしてくれたり、何かしらの「得」がある相手ならそれで結婚生活が成立するわけです。モラハラなら別居して生活費をもらおうという選択もあるし、浮気も即離婚が「得」とは限らず、修復という選択もある。感情的に離婚しても、いいことは何もないので慎重に。離婚以外にも打つ手はあります。

結婚の約1/3は片方が再婚  
アラサーなら離婚しても  
十分やり直せる！

今は「離婚はダメ」という時代でもありませんし、子どもがいない夫婦なら離婚も比較的スムーズです。また、年間の結婚数の約1/3はカップルのいずれかが再婚。シングルの人はもちろん、子どもが1人や2人いたとしても再婚している人はたくさんいます。SNSもあり、結婚相談所やマッチングアプリなどのサービスも充実して出合いも多い時代なので、結婚してみても「違うな」と思ったら「若いうちに」「子どもがいないうちに」離婚に踏み切るという選択を取る人も多くですね。

コロナを経て価値観が  
クリアになったからこそ  
離婚の理由がピンポイントに

今まではゆっくり考える暇もなく忙しい毎日を送っていた人もコロナで生活が変わり、人生や家族について考える時間ができたことで自分の価値観が明確に。ピンポイントに「ここだけは譲れない」という価値観の不一致が理由の離婚が多くなっています。特に多いのは金銭感覚、セックスレス、子どもに対する価値観の違い。今はまだ不安な時ということもあり離婚の数自体は増えてはいませんが、別れようと考えている人は増えているので今後は離婚が増えるかもしれません。



岡野あつこさん  
離婚カウンセラー

自らの離婚経験を活かし、夫婦問題に悩む人を1人でも多く救いたいという思いから、離婚カウンセリングという分野を確立。今までに3万6千件以上の相談を受け、修復も含め、数多くの夫婦問題を解決に導く。

# 「結婚」のかたちも いろいろ変わってきています

結婚して夫の籍に入り、子どもを生み、生涯添い遂げるという結婚のかたちにとらわれず、  
パートナーシップのかたちも多様性がどんどん広がっています。



## 期限を決めて結婚を継続する 「離婚約」や「エア離婚」

夫婦としての関係という観点では生涯添い遂げる未来は見えないけれど、期限を決めて子どもが成人するまでは結婚状態を継続してパートナーとして協力し合うことを約束している「離婚約」「エア離婚」が注目されています。期限を決めることで、お互いの仕事や将来設計など、次のステージに進む準備を時間をかけて整えることができるのもメリットと言えます。



## 最初から結婚せずに シングルマザーになるという選択

予想外の妊娠ではなく、妊娠前から計画的にシングルマザーになることを選択して未婚で出産した人は「選択的シングルマザー」と呼ばれています。未婚で出産した芸能人の例からもわかるように、選択的シングルマザーに必要なのは経済的自立と精神的自立。父親である男性に頼ることなく、養育費も受け取らず生きていく道を選ぶことになるからです。結婚はしたくないけれど子どもはほしいという女性が、出産のタイムリミットを念頭に選択的シングルマザーになるというパターンも。

## 夫婦別姓のためにあえて離婚する 仲良さカップルが話題に

現在の日本では夫婦別姓は法律で認められておらず、結婚して姓を変えるのは96%が女性というのが現状です。結婚後も仕事を続けるなど社会で活躍する女性が増えている今の時代、キャリア的にもずっと使ってきた自分の姓を大切にしたいという女性が夫婦別姓のために事実婚を選んだり、一度結婚した後にあえて離婚をして旧姓を取り戻すという決断が話題になりました。



## 未婚率が上昇するなかで結婚→離婚を 3回以上繰り返す人も

男女ともに未婚率が増え続ける一方で、結婚と離婚を繰り返すタフな女性も増えています。自分の周りに離婚している人が多いと離婚へのハードルが低くなったり、恋愛と結婚を分けて考えられないタイプの人は愛が冷めるとすぐ離婚となったりするケースも。挙式や披露宴をせずに入籍のみで済ませたカップルは手軽に結婚したぶん、気軽に離婚する傾向があるよう。妥協することなく幸せを追い求める姿勢や、女性に経済力があることもポイントに。

